

# 令和6年度 学校支援アドバイザー派遣事業実施要項

令和6年4月1日  
香川県教育委員会  
義務教育課

## 1 趣旨

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、生徒指導上の課題に対応するため、相談活動等を行う教職員やスクールソーシャルワーカー等（以下、「教職員等」という。）に対して助言及び援助を行う学校支援アドバイザーを配置し、教育相談体制の充実を図る。

## 2 学校支援アドバイザー

学校支援アドバイザーは、福祉や心理の分野において、専門的な知識・技術を有する者又は活動経験の実績等がある者のうち、次の職務内容を適切に遂行できる者とする。

- ・ 教職員等への指導・助言・情報提供
- ・ 問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- ・ 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整

## 3 事業の内容

学校支援アドバイザーは、学校又は市町（学校組合）教育委員会からの要請に応じて、教職員等への助言及び援助を行う。

### (1) 校内指導体制への支援

- ① 校内ケース会議等における情報の共有、問題の改善に向けてのプランニング・サポート
- ② 問題を抱えた児童生徒に関わる教職員へコンサルテーション

### (2) 教職員等の研修プログラムの作成

### (3) スクールソーシャルワーカー等月例研修会の企画・運営、並びにスクールソーシャルワーカーを対象としたスーパービジョン

- ・ 個人スーパービジョン
- ・ グループスーパービジョン
- ・ ピアスーパービジョン
- ・ ライブスーパービジョン

### (4) 関係機関等とのネットワークの構築及び連携・調整

### (5) 前各号に掲げるもののほか、教育相談に関する業務

## 4 実施形態

学校支援アドバイザーは、県教育センターに2名配置し、県教育センター所長の許可により活動を行う。

## 5 手続き

学校支援アドバイザーの活用を希望する場合は、県教育センター教育相談課に電話にて予約を申し込む。教職員等が県教育センターに来所する場合は、書類の提出は不要だが、学校支援アドバイザーの学校等への派遣を希望する場合は、電話による派遣要請の後、「(様式1) 学校支援アドバイザー派遣申請書」を県教育センター長宛に提出する。

小・中学校長等 →

(様式1)

県教育センター所長 →

義務教育課長

市町教育委員会教育長 →

(様式1の写し)

【電話予約】 香川県教育センター教育相談課 (087-813-0945) にて受付

香川県教育センター所長 殿

申請者名

立 学校長

市町（学校組合）教育委員会教育長

## 令和 6 年度 学校支援アドバイザー派遣申請書

標記の件について、下記のとおり申請します。

記

項 目	内 容
1 日 時	年 月 日 ( ) ( : ~ : )
2 場 所	
3 目的・内容	[派遣の目的]
	[事案の内容]
4 対象者・ 参加予定人数	
5 連絡担当者	職・氏名
6 連絡先等	住所 〒
	TEL FAX

# 記載例

年 月 日

香川県教育センター所長 殿

申請者名

〇〇立〇〇学校長 〇〇〇〇

〇〇市町（学校組合）教育委員会教育長

## 令和 6 年度 学校支援アドバイザー派遣申請書

標記の件について、下記のとおり申請します。

記

項 目	内 容
1 日 時	年 月 日 ( ) ( : ~ : )
2 場 所	例) 〇〇市立〇〇中学校校長室 例) 〇〇市教育委員会 2 F 会議室
3 目的・内容	[派遣の目的] 例) 市のスクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン 例) 児童虐待事案に係る学校の対応についての指導助言  [事案の内容] 例) 小学 4 年男児の生活態度に落ち着きがなくトラブルが多い。家庭環境に問題があるため、現在、市の S S W が定期的に学校を訪問し、児童の様子を観察した上で必要な支援を行っている。この市 S S W に対するスーパービジョンをお願いしたい。  例) 中学 1 年生女子生徒の保護者に監護能力がなく、深夜、自宅が溜まり場になっている。その対応を効果的に進めるケース会議をもちたいので、そのプランニング等での指導いただきたい。
4 対象者・参加予定人数	例) 市のスクールソーシャルワーカー〇〇〇〇、〇〇〇〇 以上 2 名
5 連絡担当者	職・氏名 例) 学校教育課係長〇〇〇〇 例) 教頭〇〇〇〇
6 連絡先等	住所 〒  TEL FAX